



「学テ」を抽出式に 土佐町議会が議決

●土佐町議会は12月10日、毎年実施されている全国学力テストを抽出式に変える事を提言する意見書議案を可決し、政府・文科相に提出しました。

意見書は、自治体間に点数競争を引き起こし、子どもたちがテスト漬けになっているとし、全員実施をやめて抽出式にし、浮いた予算を教員



増などに回すべきだとしています。

●3か月前の9月県議会の代表質問で私は、「学力」ではなく「学テ」の結果を絶対視し点数・順位を追う本県の実態と、福井県や広島県で県版学テを取り止めた実例も示し、全国学テの抽出化と県版学テの中止を求めました。

答弁に立った知事も教育長も金科玉条のごとく「学テ」にしがみつく答弁でしたが、今回の土佐町議会での意見書議案採択は、県知事、教育長、そして本丸の政府・文科相の姿勢に一石を投じたものとなりました。

県議会 12~26 日まで 補正予算額 27 億円

●改選された浜田せいじ知事との初議会となる12月定例県議会です。台風被害対策事業費19億円や嶺北高校寄宿舍や移住者住居機能兼備の複合施設建設費2億2千万円への県補助費5400万円、空路の高知～神戸路線新規就航支援費1700万円など総額27億円の予算が提案されます。

★代表質問 米田稔県議 12月17日午後3時

★一般質問 中根さち県議 12月18日です。



「ビキニ核被災国家賠償訴訟」原告団長の増本和馬さんが、十二月五日早朝に亡くなられました。被災船員として「政府は私たちを国民として認めていない。なんとしても人権回復を！」「早くに亡くなった仲間の無念を思うと負けるわけにはいかん！」と船員保険労災申請や裁判、県との交渉の場では常に先頭に立って頑張られていました。一二日に高松高裁での判決を前にし、さぞかし無念だったことでしょう。この春の県議選では私の再選をと、応援弁士に立っていました。

ビキニ被災船員の救済を誓いご冥福をお祈りします。